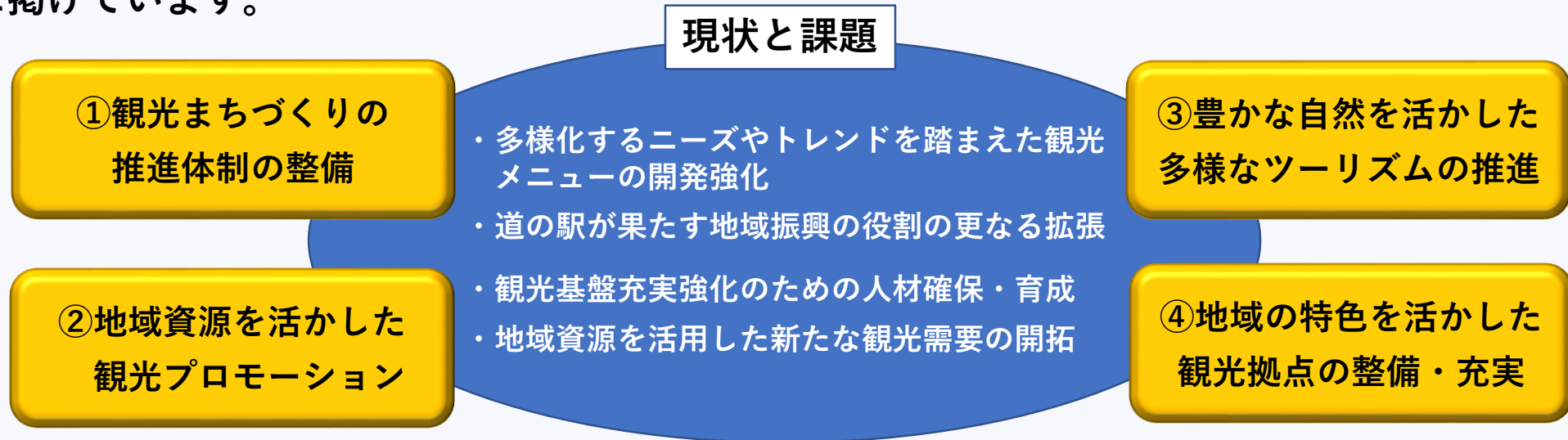


使途の検討

「観光のまちづくりと地方創生」

市の観光施策としては、これまで豊かな自然環境、食文化、歴史文化などを活用し観光客の誘客を推進してきましたが、市の目指すべき将来像の実現に向けて策定された「第2次南房総市総合計画」の中で、人口減少抑制に向けて、市民・事業者・観光関係団体・農林水産関係団体・行政が連携して魅力ある観光地づくりを行い、移住・定住の入口となる「関係人口の拡大」を図りながら観光振興に通じる地域活性化を図ることを目標に掲げています。



■南房総市観光戦略（南房総市観光協会）

観光協会が2021年度に地域DMO候補法人の登録に向けて策定。その後、2023年度に市が目指すべき観光ビジョンや狙うべきターゲット等の内容を更新。

■南房総市道の駅再生基本計画（南房総市）

道の駅を拠点とした地域振興とニーズに対応した稼ぐ力の強化を目指し、2018年度にソフト計画を2019年度にハード計画をそれぞれ策定。

「観光施策における課題」

観光事業の重要性に対する市民の理解度

人口減少による過疎化が進み、農林水産業はその担い手不足から生産量がさらに減少することが予想され、また耕作放棄地の増加により里山の景観を維持することも困難となる。また、人口減少による地域経済の衰退や、地域コミュニティの希薄化、公共交通の機能低下などにも影響を及ぼしかねない。この人口減少を鈍化させる方法である「移住・定住の促進」のため、市の魅力を発信し関係人口の拡大を図っていくことが観光事業に課せられた役割の1つである。そのようなことから観光事業が重要産業であることを市民に再認識してもらい、地域が一体となって観光振興を図っていく必要がある。

戦略に基づく観光施策の実施

限られた予算の中で効果的な観光施策を実施していくためには、より高精度な観光データを収集し、それを施策に上手く取り込んでいく必要がある。そのため、地域DMOである（一社）南房総市観光協会が中心となり、移動情報、消費情報などの客観的なデータを踏まえて、限られた資源を有効に活用し、先駆的な観光戦略を策定していくとともに、観光に関する幅広い知見と人的ネットワークを備えた「専門人材」を継続的に雇用しつつ、地域での「専門人材」を育成していくことで、持続可能な実施体制を構築していく必要がある。

「宿泊税導入に係るメリット・デメリット」

対 象	メリット	デメリット
宿泊事業者	・ 新たな観光施策や従来施策の拡充による宿泊者増 ・ 自然環境の保全による観光地の魅力アップ ・ 受入環境整備の充実	・ 徴収業務の負担増 ・ 苦情対応 ・ 導入のためのシステム改修
宿 泊 者	・ 観光サイト等による旅行情報の充実 ・ 受入環境整備による満足度の向上 ・ 多様な自然体験プログラム等の享受	・ 新たな課税負担
市 民	・ 関係人口の増加による飲食店、商店など地域の活性化 ・ 第一次産業の需要拡大 ・ 新たな地域の観光体験プログラムや自然環境の享受	

「宿泊税導入後の期待される効果」

◎ ことができるか（想定される事業）

- ・ OTAやSNS等による積極的な広告展開
- ・ 教育旅行やスポーツ旅行への支援による誘致の強化
- ・ インバウンド向けコンテンツの造成とSNS等によるプロモーションによる誘客の強化
- ・ DMOへの観光専門人材等の配置による観光地経営体制の構築
- ・ 伝統文化×食文化など、地域資源を生かしたプロモーションによる誘客の強化
- ・ 自然環境を活用した体験プログラムの拡充
- ・ 観光資源の維持・整備
- ・ 観光施設や宿泊施設のDX化・バリアフリー化等に対する支援

◎ 何が変わっていくのか

- ・ 魅力的なコンテンツを増やすことやインバウンド受入環境整備などにより、観光客の滞在時間や宿泊日数の増加につながる
- ・ 観光施策による関係人口の増加が、観光事業者をはじめとする事業者の所得向上など、地域経済に好循環をもたらす
- ・ 安定財源の確保により新たな観光施策や従来施策の拡充を行うことで、観光に対する市民意識が向上する
- ・ 次世代を担う子ども達に夢と希望を与えるシビックプライドの醸成

「宿泊税の使途（案）」

南房総市が取り組むべき観光振興施策と事業規模

※宿泊税5,000万円と仮定した配分イメージ

1 観光まちづくり推進体制の整備 約2,000万円

- ・教育旅行、スポーツ旅行の誘致
- ・インバウンド誘客の強化
- ・専門人材の雇用と育成

2 地域資源を活かした観光プロモーション 約 300万円

- ・伝統文化、食文化のPR
- ・宿泊、滞在時間を延ばす取り組み

3 豊かな自然を活かした多様なツーリズムの推進 約200万円

- ・関係団体と連携したSDGsプログラムの造成
- ・自然を使った体験プログラム

4 地域の特色を活かした観光拠点の整備・充実 約 2,200万円

- ・自然環境の維持、保全
- ・観光施設や宿泊施設等への支援

5 徴税経費 約 300万円

